

研究構想図

教育目標

みはらミライの挑戦 ～レッツ チャレンジ～

めざす子供像

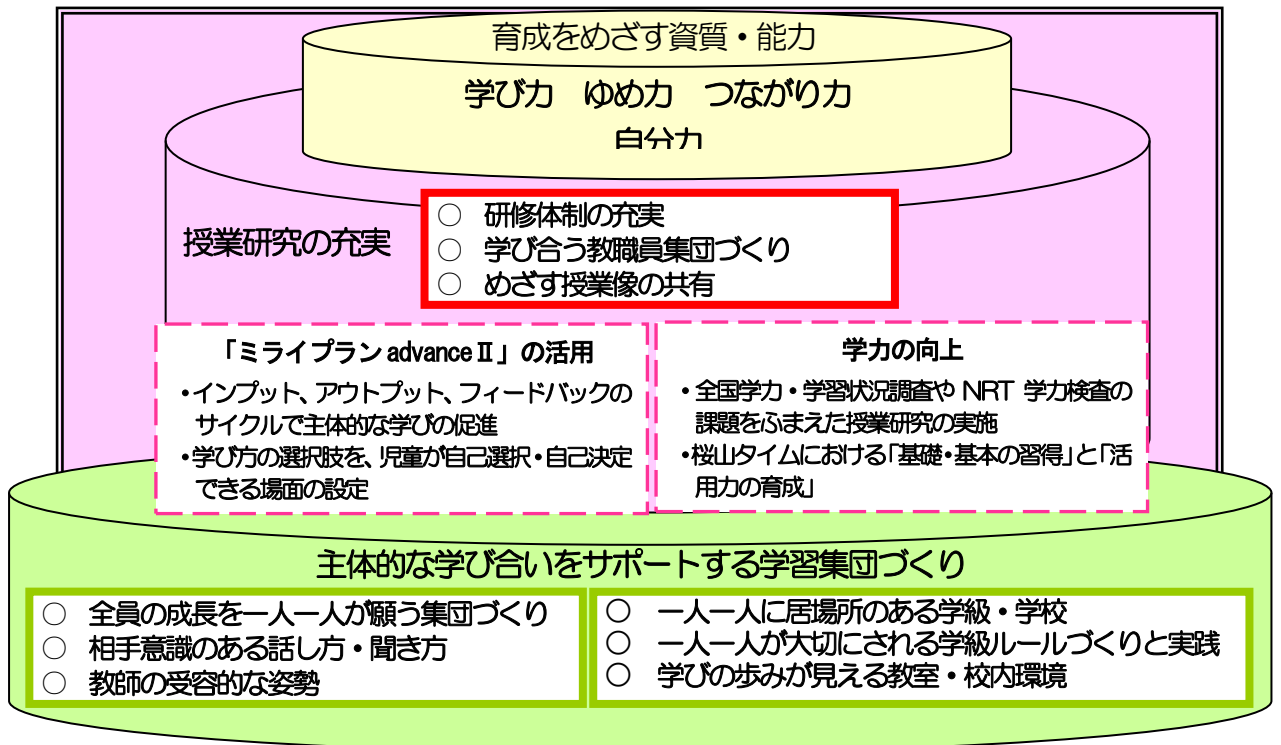
- 自分と人を大切にする子供
- 学び続ける子供
- ふるさと三原を愛する子供

研究主題

「見方・考え方」を働かせながら、学びを深化させる児童の育成
 ― 「ミライプラン advance II」の単元構成を通して ―

研究仮説

算数科の授業において、児童がメタ認知しながら授業の進め方について見通しを持つ。「見方・考え方」を活用し、自己調整しながらインプット・アウトプットを繰り返すことにより、主体的に学び続ける児童を育成することができるだろう。



【検証の指標・目標】

① 資質・能力に関する検証

- ア 児童アンケート
 「学び力」の肯定的回答
 85%以上
 〈アンケート項目〉
- ・自分力
 - ・学び力
 - ・ゆめ力
 - ・つながり力

② 基礎・基本の習得に係る検証

- ア 学期末到達率による評価
 (年間3回)
 国語と算数の学期末評定で、
 1・2年生は 90 点以上を 90%
 以上、3～6年生は 80 点以上の
 児童を学級の 80%以上

③ 基礎・基本の習得に係る検証

- イ 学期末到達率による評価
 (年間3回)
 学年実態で 90%以上の児童
 すらすら読み
 段落意識のある作文
 漢字
 計算

指標から「国語」関連のものは消します。

